

2025年1月31日

各 位

株式会社三井住友銀行

川崎重工業株式会社への「グリーンローン」の実施について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕/以下、「三井住友銀行」）は、川崎重工業株式会社（代表取締役社長執行役員：橋本 康彦/以下、「川崎重工」）に対し、グリーンローン（以下、「本ローン」）を実施いたしました。

グリーンローンは、企業等が環境問題の解決に貢献する事業（以下、「グリーンプロジェクト」）に要する資金を調達する際に用いられる融資であり、具体的には、①調達資金の用途がグリーンプロジェクトに限定され、②調達資金が確実に追跡管理され、③それらについて融資後のレポートを通じ透明性が確保されたものを指します。

川崎重工は、1896年に創立された総合重工業であり、航空宇宙システム事業、車両事業、エネルギーソリューション&マリン事業、精密機械・ロボット事業、パワースポーツ&エンジン事業を展開し、各カンパニーが有する高い技術力のシナジーを活かした、新たな価値を有する多様な製品・サービスを提供しています。

川崎重工は、2021年7月のサステナビリティボンドの発行を皮切りに、環境・社会の持続可能性に貢献する資金調達を実施しています。同社は、これらサステナブルファイナンスを積極的に活用することで、グループビジョン2030「つぎの社会へ、信頼のこたえを ~Trustworthy Solutions for the Future~」の実現に向けたサステナビリティ経営の取り組みを加速させるとともに、ステークホルダーとのエンゲージメント強化に努め、SDGs達成に向けた貢献と持続可能な社会の実現を目指しています。2023年11月には、6種類のサステナブルファイナンス（グリーン、トランジション、トランジション・リンク、ブルー、ソーシャル、サステナビリティ・リンク）での調達を網羅するマスターフレームワーク（以下、「本フレームワーク」）を策定しており、あらゆるサステナブルファイナンスに対応できる体制を構築しました。川崎重工が本ローンで調達した資金は、本フレームワークで定められた適格クライテリアを満たす、水素のクリーンな輸送・貯蔵に関するプロジェクトに充当される予定です。

なお、本フレームワークは、第三者評価として株式会社日本格付研究所（JCR）より、「クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック」、「クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針」、「グリーンボンド原則」、「グリーンローン原則」、「グリーンボンドガイドライン」及び「グリーンローンガイドライン」等において求められる項目について基準を満たしているとの評価を得ています。

三井住友銀行では、今後もお客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会及び市場の形成にも一層貢献を行ってまいります。

【本ローンの概要】

契約締結日	2025年1月29日
実行日	2025年1月31日
契約金額	25億円
契約期間	4年
貸付人	株式会社三井住友銀行
資金使途	本フレームワークで定める適格クライテリアを満たす、水素のクリーンな輸送・貯蔵に関するプロジェクト

(参考)

川崎重工業株式会社ホームページ：  
<https://www.khi.co.jp/>をご参照下さい。

川崎重工業株式会社 マスターフレームワーク：  
[https://www.khi.co.jp/pressrelease/detail/20231130\\_1.html](https://www.khi.co.jp/pressrelease/detail/20231130_1.html)をご参照下さい。

株式会社日本格付研究所（JCR）による評価結果の詳細：  
<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>をご参照下さい。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】  
サステナブルソリューション部  
TEL：03-4333-6967

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。